



株式会社ランシステム



2023年1月31日

各位

会社名 株式会社ランシステム
代表者役職氏名 代表取締役社長 日 高 大 輔
(コード番号:3326)

問い合わせ先 常務取締役 面 高 英 雄
TEL 045 - 594 - 6411 (代)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2023年3月期決算におきまして、2022年8月12日に発表した2023年3月期通期の連結業績予想について、2022年10月31日付で未定としておりました。最近の店舗運営事業及び外販事業の通期着地見込みを踏まえて予想値が公表可能となったことから、下記の通り修正することとなりましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

2023年3月期通期 (2022年7月1日～2023年3月31日) 連結業績予想数値の修正

	売上高	営業利益 (△は純損失)	経常利益 (△は純損失)	親会社株主に帰属 する当期純利益 (△は純損失)	1株当たり 当期純利益 (△は純損失)
期初発表予想※1 (2022年8月12日付)	百万円 5,300	百万円 80	百万円 50	百万円 50	円 銭 11.76
前回発表予想(A) (2022年10月31日付)	—	—	—	—	—
今回修正予想(B)	3,650	△210	△219	△195	△45.88
増減額(B-A)	—	—	—	—	—
増減率(%)※2	—	—	—	—	—
(ご参考)前期実績※3 (2022年6月期)	4,346	△634	△588	△682	△287.15

※1 期初発表の2023年6月期の連結業績予想は2022年7月1日から2023年6月30日(12ヶ月間)とした予想値となります。

※2 2022年9月28日開催の第34期定時株主総会において「定款一部変更の件」が承認され、決算期を6月30日から3月31日に変更しております。このため、経過期間となる2023年3月期は、2022年7月1日から2023年3月31日までの9ヶ月間となっております。よって、増減率は記載しておりません。

※3 前期実績は2021年7月1日から2022年6月30日(12ヶ月間)の実績となります。

2. 業績予想の修正の理由

長期化している新型コロナウイルス感染症の影響下にあるアミューズメント業界で、当社事業においても依然としてマイナス影響が継続しております。直近の業績は回復基調ではあるものの、2023年3月期通期連結業績は売上高、利益ともに期初発表の予想値を下回る見込みとなりました。

直営店舗運営事業においては、2022年10月までに稼働率の高い完全個室タイプのブースを「スペースクリエイティブ自遊空間」直営店14店舗へ117室導入する改装を行いました。また、冬季フードメニューフェアの実施やダーツの大型イベント「頂天-TEPPEN」の開催告知など、店舗の活性化を図り、既存店の稼働向上に努めて参りました。当事業では今期、不採算店舗の撤退を進め、当第2四半期連結累計期間に飲食店1店舗を含む直営店舗10店舗を閉店いた

しました。加えて、人員配置の見直しや店舗の賃料減額等コストを再精査し、販管費の削減を行いました。

外販事業においては、当社の親会社である株式会社 AOKI ホールディングスのグループ会社の運営する店舗へのセルフ化システム、PC 関連部材等の導入を実施して参りました。これらの協業によって当事業の売上高、利益は前年を上回る形となり、次年度にかけても継続的な取引を行って参ります。

児童発達支援事業においては、子会社である株式会社ランウェルネスにて放課後等デイサービス事業「ハッピーキッズスペースみんと」1 施設を新規に開所し、13 施設を安定的に運営しております。

これらに加えて、ランシステムグループ全体で運営体制の効率化や販管費削減のコストコントロールを行っております。

しかしながら、当第 2 四半期（2022 年 10 月～2022 年 12 月）の稼働が目標値に伸びなかったこと、原材料費、水道光熱費等の高騰の影響を受けて販管費が増加したこと等から売上高、利益ともに目標を下回りました。当第 3 四半期（2023 年 1 月～2023 年 3 月）においては、不採算店舗の閉店をしたことによるキャッシュ・フローの改善効果が期待できることに加えて、上記施策を継続・強化し、店舗稼働率の向上や店内環境の改善、外販事業における新規取引の開拓に努めて参ります。

2023 年 1 月 20 日「固定資産の譲渡及び特別利益の計上に関するお知らせ」にてお知らせいたしました自遊空間浅草雷門店の譲渡により、2023 年 3 月期第 3 四半期連結会計期間に特別利益 38 百万円を計上する見込みとなっております。こちらは本修正値に織り込んでおります。

2023 年 3 月期通期連結業績につきまして、本予想と異なる着地となることが予測される場合には、速やかに公表いたします。

以上